



お話の学習指導案



教育目標

題名 ・ トラとほしがき

年齢 ・ ようじ (3~5さい)

主題 ・ もくひょう：ほしがきをこわがった、おろかなトラのおはなしをたのしくきく。
・ しゅだい：たのしみ

キーワード ・ トラ、ほしがき、どろぼう、トッケビ

韓国文化 ・ もくひょう：かんこくのひとびとが、むかしからよろこんでたべたほしがきについてしる。
・ ようそ：ほしがき

韓国語

- ・ もくひょう：たのしくおはなしをきいて、とうじょうじんぶつのとくちょうをはなす。
- ・ たngo：호랑이 (トラ)、꽃감 (ほしがき)、도깨비 (トッケビ)、도둑 (どろぼう)
- ・ ひょうげん：
무서운 호랑이 (こわいトラ)、
무시무시한 도깨비 (おそろしいトッケビ)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
"トラとほしがき"です。
みなさん、トラをみたことはありますか？からだがおおきくて、なきごえはや
まにひびきわたるほどちからづよくて、とてもつよいです。あしのつめはとがっ
ていて、ははするどくて、やまのなかのすべてのどうぶつをつかまえてたべるこ
とができる、こわいどうぶつですね。これだけこわいトラが、おなかがすいてむ
らにおりてきたのですが、よりこわいともだちにあったのです。おはなしをいち
ど、きいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

"トラとほしがき"のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、ふかい、ふかいやまのなかに、からたがおおきくてちからがつよい、トラがすんでいました。トラがでてくると、うさぎたちはぴょんぴょんととんで、とりたちはばたばたとはねをうごかして、にげまわっていました。

“がおー”

“うああ!せかいでいちばんあらあらしくてこわい、トラがでてきた!すぐににげろ!”

トラにはせかいでこわいものがありませんでした。ほかのどうぶつたちがみんな、じぶんをみてぶるぶるふるえるようすにいいきになりました。

しろいゆきがふる、さむいふゆのひでした。

“がおー!おなかがすいた。こうしていたら、うえてしんでしまう。”

くうふくをがまんできなかったトラは、まよなかにやまのしたにあるむらにおりていきました。うしごやにいるうしでもつかまえてたべるつもりでした。

“うわーん、うわーん!”

こどものなくこえがきこえました。トラはしたなめずりをして、こどもがなくこえがするいえのまえにいきました。そのときでした。

“いいかげんに、なきやみなさい!ずっとないていたら、こわいこわいトッケビがつかまえにくるよ!”

おかあさんがなくこどもをとんとんとあやして、いいました。そしたらこどもがさらにおおきいこえでなきはじめました。

“ふん、トッケビのなにがこわいんだ。”

へやのまえでこどものおかあさんのことばをきいたトラがおもいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“もうやめなさい!そんなになんていたら、あらあらしくてこわいトラがつかまえにくるよ!いまトラがそとで、くちをぱっとあけているんじゃない!”

おかあさんがまたいいました。

“なんで、おれがくることをしているんだ?”

おかあさんのことばにトラがびっくりしました。

“うわーん、うわーん!”

こどもはさっきよりおおきいこえでなきました。

“おれがつかまえるといっても、なきやまないな。いいぞ、おれがどれだけこわいのか、みせてやる!”

トラはまっすぐへやのなかにはいろうとしました。

まさに、そのときでした。

“お!ここにほしがきがあるね!ほしがき!”

おかあさんのことばにこどもがきゅうに、なきやみました。

“ああ、ほしがきがおれよりもこわいというのか?”

おじけついたトラはあしがぶるぶるふるえました。こわいほしがきにみつかるまえに、にげようとおとずさりしました。

しかしそのとき、うしをぬすもうとしたどろぼうが、くらやみのなかをあちこちさわりながらうしごやをさがしていたところ、トラをむんずとつかみました。

“うしがなぜそとにでているのだ?フフフ、いえのしゅじんにばれるまえに、はやくもっていこう。”

うしどろぼうはトラをうしとおもい、トラのせなかにすばやくのりました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“うわっ、ほしがきはもうおれをつかまえたのか?”

トラはとてもびっくりして、うしどろぼうがこわいほしがきだとおもい、よるのみちをはしりだしました。

“うわっ、おれをたすけてくれ!ほしがきがトラをつかまえた!”

トラはやすまずにはしりつづけました。ほしがきをせなかからおろそうと、よるじゅうあのやまこのやまをずっとぴょんぴょんとはしりました。うしのどろぼうはおちるかとおもい、トラのせなかをぎゅっとつかみました。

“ああ、わたしのせなかのかわが!ほしがきがおれをたべようと、がぶっとかんだんだな!”

トラはほしがきがじぶんをたべようとしているとおもいんで、よりはやくはしりました。しばらくのあいだはしっていると、いつのまにかひがあかるくなりました。うしのどろぼうは、やっとじぶんがトラのせなかにのっていることにきづきました。

“いや、たいへんだ。わたしがトラのせなかにのっているとは!”

うしどろぼうはとてもおどろきました。ちょうどそのとき、おおきなきのしたをトラがとりました。うしどろぼうはそのえだをちからいっぱいつかんで、トラのせなかからとりました。

うしどろぼうがせなかからとりたこともしらずに、トラはやすまずにはしりました。そのようすをみたくまが、おおきいこえでトラをよびました。

“トラさん、どこにそんなにいそいではしっていくんですか?”

“ほしがきがおれのせなかにのったんだ!おれをなんとかたすけてくれ!”

口演 活動内容



お話を聞かせる

“せなかにだれかがのったと？だれもいませんよ！”

くまがいうと、やっとトラはせなかがかるくなったことをしました。

“ひゅー、ほしがきがやっとおちたな。”

よるじゅうはしりつづけたトラはちからがぬけて、じめんにべったりとすわりこみました。そのあと、トラはどんなにおなかがすいても、ひとびとがすむむらのちかくには、ぜったいにいかなくなりました。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

こどもがなくて、おかあさんがおそろしいものがつかまえにくるといういました。なにか、いってみましょうか？そうですね。トッケビです。トッケビはそうぞうじょうのそんざいですが、ひとのようにみえたりもしますし、あるときはものにへんしんすることもあります。トッケビはふざけるのがすきで、ひとたちとかけごとをしたりもします。

また、おかあさんはこわいトラがきたといういました。トラがこわがったものは、なんでしたか？

そうですね。ほしがき（ゴツカム）ですね。ほしがきは、かきのかわをとって、かわかしてつくったものです。ほしがきはもちもちして、あまいあじがします。かわいたものをそのままたべたり、スジョングァいうのみものにうかべてたべたりもします。かたくなくて、ちいさいこどものおやつにさいこうです。みなさんもほしがきをたべるきかいがあれば、いちどためしてみてください。とてもあまくておいしいです。

かんこくのでんとうてきなおやつにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらんお話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、もうおしまいのかんです。"トラとほしがき"のおはなしはたのしかったですか？

トラはせかいで怖いものがありませんでした。しかし、怖いトラがつれていくといってもなきやまなかったこどもが、“ここにほしがきがあるね！ほしがき！”ということばでなきやんだのをみて、ほしがきをこわがるようになりました。そして、よりによってうしどろぼうがあらわれて、トラをうしとおもいこんでせなかにのりましたよね。トラはほしがきが、じぶんをつかまえようとしている、とおもったのですね。みなさんはせかいでいちばんあらあらしくて怖いトラが、おいしいほしがきをこわがるのが、とてもおもしろくありませんか？



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！